

税その他の徴収金の収納や出張所管内の連絡に関する事務などが主な所掌事務となっております。八百津町内には、5カ所の出張所がございますが、出張所を設置している施設名称が、公民館であったり農業者研修センターであったりと呼び名が区々であるのはご指摘のとおりでございます。施設の建設当時、有利な補助事業により核となる地域コミュニティの場を建設しようとしたため、農林省所管事業で整備したものは環境改善センター、文部科学省所管事業で整備したものは、公民館などと名称が違っておりますが、基本的な役割につきましては、各施設とも同一と考えております。

各種団体の皆様や自治会の皆様など、多くの方々が会合や生涯学習の場として利用していただくことを想定しております。また職員配置につきましては、それぞれの出張所の状況により判断をいたしておりますが、最小2名といたしております。錦津コミュニティセンターには職員とは別に公民館長を置き公民館活動のモデルとなるよう活動実践を行っていただいております。各出張所では、職員が公民館主事を兼務し、生涯学習活動などの援助をしながら、情報交換などにも努めております。そして、各種団体の事務なども可能な範囲でお手伝いをさせていただ

ているのが現状でございます。次に、行政権限についてのお尋ねでございますが、行政機関の権限とは、法律上行うことのできる行為のことをいうものでございますので、出張所自体には行政権限はございませんが、町長の権限に属する事務の一部を出張所長に委任している委任事項に対する権限は持っております。



錦津コミュニティセンター「きらり」

### 公民館活動の現状は

**問** 2年前に錦津コミュニティセンター「きらり」の開館当時に、館長は「八百津町の公民館活動にかかわっていきい」と教育長が言われたが、公民館活動の現状などについて伺いたい。

**答** (堀部教育長) 錦津コミュニティセン

ターは、きらりカフェなど充実した取り組みがなされています。八百津町には公民館をはじめ、同様の施設が八百津・和知・錦津・久田見・福地・潮南と6つございますが、どの施設も公民館活動はレベルアップしていると思っております。

今年度、錦津コミュニティセンターの館長を講師として、各施設の出張所の職員や社会教育委員などを対象に公民館のあり方などを学ぶ会を行いました。そして、それぞれの公民館等では、活動の質等の向上が図られています。例えば、東部3地区の施設では、今年度新たに夏休み子ども講座を企画し、「見行山登山」「フレンドリーパーク大平での川遊び」を行いました。八百津中央公民館(ファミリーセンター)では、八百津の歴史を知るための歴史講座「地域の文化遺産を知ろう」を年4回行いました。和知センターでは、正月に20名の子どもが参加し、書き初め大会を行い、その書き初めをもとにして掛け軸を作成しました。尚、錦津コミュニティセンター館長を置く前の平成26年度は6つの施設全体の講座の数は、26でしたが平成27年度は41となっております。さらに、今年度は46と増えています。

教育委員会としましては、公民館活動の充実に向けて、今後

### 行政サイトから出張所を拠点とした協力体制を

**問** 各地区では、地域活性化のために町民の皆さんが地区の特徴を生かし、自主的に「夢おこし」や「ふるさとづくり」などの組織で様々な取り組みを行っている。

しかし、5年前に八百津町が打ち出した町民と行政がともに取り組む「協働のまちづくり事業」については、大きな広がりとなっていないのが現状ではないのか。見解を伺いたい。

また、「協働のまちづくり」を推し進めるためにも、地域の活性化とまちづくりを担う団体やグループの活動を後押しできるように、出張所を「まちづくりの拠点」とするなど行政サイドから協力体制ができないものか伺う。

**答** (瀬瀬参事) 「出張所を地区のまちづくりの拠点にできないか。」というご質問でございますが、町といたしましても出張所は様々な地域活動の拠点であるとの認識を持ってまいります。

「協働のまちづくり事業」について「町民と行政がともに取り組む、大きな広がりを見せていないのではないか。」とのことですが、町といたしましては

まちづくり協議会支援要綱にも定めておりますように、行政側の支援の内容としてまちづくりに関する情報提供や、各活動に関する助言・指導とともに、必要な経費に対し補助金を交付することと規定いたしております。まちづくりの主役は町民の皆さんであると考えております。まちづくり活動が活発になることは、地域活性化にもつながることから様々なまちづくりの活動には、出張所職員も可能な範囲で相談・支援をさせていただきます。ご理解をお願いします。



### 館林久宜議員

### Q1 再生可能エネルギーの活用などについて

今後木質バイオマスの供給体制をどう構築するのか